

被爆体験や平和への思いを伝える

被爆者、被爆体験伝承者、家族・交流証言者、 被爆体験記朗読ボランティア を全国に無料で派遣します

～被爆体験伝承者等派遣事業～

令和4年度派遣

平和祈念像（長崎）/北村西望作

原爆ドーム（広島）

戦後76年が経過し、唯一の戦争被爆国として、被爆者の体験や平和への思いを次世代に語り継いでいくことがますます重要となっています。このため、厚生労働省と広島市、長崎市が協力し、被爆者、被爆体験伝承者、家族・交流証言者及び被爆体験記朗読ボランティアを全国に無料で派遣し、被爆の実相、平和への思いを伝えます。

◆被爆者（広島・長崎）

被爆者ご本人が、自身の被爆体験や平和への思いをお話します。

※同一年度内に広島・長崎市内で聴講する団体、修学旅行の事前学習は対象外とし、聴講者数は概ね40名以上とします。

※広島からの被爆者の派遣は、12月から翌年3月までの間に限ります。

※長崎からの被爆者の派遣は、職員1名（費用は申込者負担）が随行します。

◆被爆体験伝承者（広島） 家族・交流証言者（長崎）

広島市、長崎市が養成した被爆体験の伝承者等が、プレゼンテーションソフトなどを用いて被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思いをお話します。

◆被爆体験記朗読ボランティア（広島・長崎）

国立原爆死没者追悼平和祈念館が募った朗読ボランティアが、被爆者が自ら綴った体験記や詩などを朗読します。聴講者による朗読体験なども行います。

■講話・朗読会の標準開催時間 広島：60分・長崎：40分

申し込み&問い合わせ先

◆申込期限は、原則として派遣希望月の3カ月前の月の月末まで

（ただし、派遣希望月が4月の場合は2月末まで）

（例）7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30 ※申込期限に間に合わない場合は、電話でご相談ください。

◆派遣希望時期の新型コロナウイルスの感染状況によっては中止とさせていただく場合がありますことを予めご了承ください。

◆申込方法は、原爆死没者追悼平和祈念館のホームページでご確認ください。

派遣元	希望する派遣者	申し込み・問い合わせ先
広島	被爆者	●国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 082-207-1202 FAX 082-543-6273 ホームページ https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/ e-mail haken@hiro-tsuitokinenkan.go.jp
	被爆体験伝承者	
	被爆体験記朗読ボランティア	
長崎	被爆者	●国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 095-814-0055 FAX 095-814-0056 ホームページ https://www.peace-nagasaki.go.jp/ e-mail haken@peace-nagasaki.go.jp
	家族・交流証言者	
	被爆体験記朗読ボランティア	

申し込みから開催までの流れ

～被爆体験伝承者等派遣事業～

- ① **申し込みの受付** 令和4年2月1日～ 申込期限：原則希望月の3カ月前の月の月末まで
(例：7/31 派遣希望の場合のメ切 ⇒ 4/30)
- ② **派遣の可否の連絡** 申込書受付後、20日以内に連絡します。
- ③ **派遣者名等の派遣内容の連絡** 開催日の1カ月から2週間前までに連絡します。
- ④ **派遣者と電話等で打ち合わせ** 派遣者と開催内容等の確認を行ってください。
- ⑤ **会場への派遣、開催** 会場設営、必要機器等の準備を行ってください。

※申し込みの際の注意事項

- 派遣対象 学校、自治体、その他の団体が主催し、平和に関して学ぶ目的で行う平和学習等とします。ただし、政治・宗教・営利を目的とする集会等は除きます。
- 聴講者数 概ね20名以上（被爆者ご本人の講話は40名以上）が聴講する平和学習等に派遣します。ただし、これを下回る場合においても状況に応じて派遣します。
- 実施回数 申し込みは1団体1回のみ（1年度内）、講話もしくは朗読会のいずれかのみとします。なお、広島、長崎両方への申し込みはできません。

※必要機器等（プレゼンテーションソフトを使用できるパソコン、机、マイク及びマイクスタンド等）は申込者に準備していただきます。また、会場借上料などの必要経費は申込者の負担となります。

令和3年度に寄せられた感想から

広島からの派遣

○被爆体験証言講話【滋賀県米原市立米原中学校】令和3年12月10日

中学生にも理解できる言葉で被爆の実相・真実をしっかりとお伝えいただきました。被爆者ご本人のお話を直接お聞きすることで大変勉強になり、平和を構築していくのは自分たち一人ひとりであることを教えていただきました。

○被爆体験伝承講話【大阪府八尾市立高美中学校】令和3年11月17日

原爆がなぜ落とされたのか、それまでの背景をわかりやすく端的に、講話の内容ごとに短く分けてお話ししていただきました。伝承された内容ではあるものの、実際の被爆地広島で見聞されたことは、とてもリアルに感じました。

○被爆体験記朗読会【大阪府交野市立藤が尾小学校】令和3年10月7日

導入としてDVDを見て被爆状況を知ることができたので、その後に朗読してくださった体験記や詩の状況がつかみやすかったです。体験記を聞いた後に、子どもたちが実際に読んでみるのも、子どもたちにとって平和学習を深める良い機会となりました。

長崎からの派遣

○被爆体験証言講話【佐賀県小城市立桜岡小学校】令和3年10月18日

実体験を話していただくことで、子ども達の心の中にしっかりと響く言葉でした。視覚的に訴えやすいように資料も準備していただいたことで理解も進んだようです。今の幸せをしっかりとかみしめ、下級生へ伝えるための次の活動へしっかりと繋がられました。

○家族・交流証言講話【福岡県飯塚市立飯塚東小学校】令和3年10月19日

当時の子どもの目線に立った話の内容で、子どもたちにとって想像しやすい内容でした。優しい語り口調で話していただきました。

○被爆体験記朗読会【福岡県北九州市立尾倉中学校】令和3年7月6日

学年の発達段階に応じた話し方の工夫や、語りかけなどをしていただき、非常に素晴らしかったです。体験記の朗読では、心に響く内容の体験記と、引き込まれるような語りで、大変良かったです。

